

[ 横浜にぎわい座 ]  
**令和3年度業務報告及び収支決算**  
 [ 公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ]

- ※ 文中の事業欄において、  
●：主催事業。○：共催事業  
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、  
□：定量的指標。■：定性的指標  
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市芸能センター 横浜にぎわい座
所在地	横浜市中区野毛町3-110-1
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下3階地上13階建の地下2階から地上4階及び地上5階部分の各一部を専有
敷地・延床面積	専有面積 4,358.97㎡
開館日	平成14年4月13日

2 指定管理者

団体名	公益財団法人横浜市芸術文化振興財団
所在地	横浜市中区山下町2番地
代表者	理事長 近藤誠一
設立年月日	平成3年7月10日
指定期間	平成28年4月1日から令和4年3月31日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

**【目指す姿、果たすべき役割】**

第三期5年間の目指す姿を“大衆芸能が後世に受け継がれ、横浜にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化していること”、果たすべき役割を“あらゆる市民に対して、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけること”としました。にぎわい座の運営を担うことで、地域の活性化や、特色ある興行を目的とした来浜(=文化観光)促進などに取り組みます。大衆芸能は世代を越えて共に楽しめるジャンルです。アウトリーチなどを通じて高齢者の健康やコミュニティの活性化に資する事業を開発し、子どもについては学校教育との連携を図ります。大衆芸能はユーモアとニュアンスを含んだ豊かな日本語に触れる機会でもあり、このような特色を活かし、子どもたちのコミュニケーション力の向上や世代間交流にもつなげます。にぎわい座の運営を通じて、大衆芸能を後世に継承し、その豊かな可能性を現代社会に十分に活用していくことで、横浜の魅力を高め、芸術文化を通じた市民生活の向上に貢献します。

## (2) 令和3年度の業務の方針及び達成目標の総括

### ①文化事業について

大変厳しく苦しい新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中においても「笑いは健康の源」を信念に、子どもから大人まで幅広い層を対象として、大衆芸能の持つ魅力や可能性を様々な手法を通じて働きかけ、日本の文化、大衆芸能への理解を深め、“大衆芸能が後世に受け継がれ、横浜にぎわい座が市民に愛され、その運営や事業を通じて市民生活や地域を活性化する”ことを目指しました。

主に落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる「横浜にぎわい寄席」、ネタおろし、名作の継承や新作発表など演芸界を活性化させる独演会、趣味をテーマにした演芸会、のげシャーレの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コント、音楽ショウなどの公演、若手芸人が研鑽を積み「将来の名人を育てる道場」とするシリーズ公演「登竜門シリーズ in のげシャーレ」など、公演毎の特徴を明確に示して主催公演全体を安定的に実施しました。

市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援として、普段知る機会の少ない舞台裏を紹介する「バックステージツアー」や施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションで大衆芸能の楽しさを届ける「アウトリーチ」などを実施しました。

### ②施設運営について

コロナ禍において、利用者に心を寄せて、しっかりとした感染症対策を講じながらより安全で快適な環境づくりに努めました。国などの助成金を活用した施設利用や、これまでコロナ禍を理由に利用を見送っていた団体のいくつかが利用を再開するなど、年度当初の目標には達しなかったものの利用率、利用料金ともに昨年度を超えることができ、少し明るい兆しも見られました。

### ③施設管理について

昨年度に引き続き、すべての来館者が、施設を安心・安全に利用できることを主眼に、刻々と更新されるガイドラインの動向を正しく把握しながらこれまで蓄積された知見を活かし感染症対策に努めました。また施設・設備の維持保全では、特に空気環境の維持や各所消毒に重きを置きつつ各業務遺漏なく実施しました。修繕では、設備等の経年劣化が進行するなか、横浜市と丁寧に協議しながら適切に対応しました。

### ④収支について

コロナ禍により大変厳しい運営環境のなか、自主事業収入は昨年度に比べ126%、施設利用収入は昨年度に比べ151%となりましたが、依然団体向け販売を中心に券売の低迷が続き回復の目途が立っていません。新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に伴う横浜市の負担金により今年度の収支は均衡となりましたが、持続可能な運営ができるように横浜市や財団事務局と対応について引き続き協議してまいります。

#### 4 業務の取組と達成指標

##### (1) 文化事業について

###### ア 大衆芸能の公演、講座その他の事業の企画及び実施

###### [目指す成果]

- ・毎月1日から15日の経常公演を、これまでの実績を活かして確実に実施し、事業の基軸とします。寄席形式公演「横浜にぎわい寄席」は、様々なタイアップや団体誘致を行い、落語や寄席に馴染みのない層にアピールして、観客数の増加に繋がります。
- ・所属団体・流派の垣根を越えた実力者、人気者によるバラエティ豊かな出演者による公演を行うことで、市民の大衆芸能に対するニーズに応えます。
- ・若手出演者の育成を継続的に実施し、「将来の名人を育てる道場」とします。
- ・学校教育と連携し、大衆芸能の鑑賞・体験を通じて、子どもの創造性や感性を育むとともに、教育現場に関わる人々に働きかけます。市民に向けては大衆芸能ファンに限らず幅広い層に当館を知っていただき、将来の観客創造につなげます。

###### [成果の振り返り]

- ・企画公演として、人間国宝の柳家小三治によるにぎわい座最後の独演会、立川談志没後10年となる命日(11月21日)の翌日に談志の長女松岡ゆみこ、元弟子のダンカン、立川談春による「ゆみちゃん寄席」を開催しました。さらに、根強い人気がある野球、鉄道、猫を主題に趣味をテーマにした公演、地元神奈川を主題とした落語、講談による公演、華やかな音楽ショー、テツ and トモ、レ・ロマネスク、ポケによる「にぎわい The ショウ」や「おぼん・こぼんとゆかいな仲間たち」など、バラエティ豊かな内容の公演を日替わりで開催しました。また、獅子舞や万歳といった祝福芸で日本のお正月を再現する「新春特選 ニッポンの芸!」や、今年テレビ番組笑点の新メンバーとなった桂宮治の真打披露公演を開催、さらに関東とは異なる歴史、風土から生まれた上方文化に触れる機会になる上方落語の公演を計10回開催し市民の大衆芸能に対するニーズに応えました。
- ・若手実演家の育成では、企画公演に実力のある若手を39公演53名起用し、また若手実演家の研鑽の場である「登竜門シリーズ」を21公演実施しました。さらにコロナ禍においても休演することなく「横浜にぎわい寄席」を実施することで、落語界における貴重な前座修行の場として貢献しました。また、登竜門シリーズ卒業生などの活動をサポートする仕組みを検討しました。
- ・市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援では、「寄席文字講座」の開催をはじめ、「アウトリーチ」を2か所、「貸切公演」を3公演、「バックステージツアー」を3回実施するなど、コロナ禍の中でも大衆芸能をとらして市民の活動支援を継続しました。
- ・子どもの創造性育成については、コロナ禍により十分な活動を行うことが大変困難な状況でしたが、感染症対策を十分に取りながら「にぎわい寄席」で「こども寄席」を開催し、また「寄席体験プログラム」は実施時期を延期し、落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する場をつくり、また「学校プログラム」も4校でアウトリーチを実施することができました。
- ・なおコロナウイルス感染症拡大により「名作落語の夕べ」は実施を見送りました。

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
<p><b>◇幅広い大衆芸能の演目の多彩な構成による魅力的な公演等の企画・実施</b></p> <p><b>経常公演</b> 毎月1日から15日まで芸能ホールで自主事業を連日開催 所属団体・流派等に捉われないバラエティ豊かな出演者により、市民ニーズを満たす公演内容</p> <p>●「横浜にぎわい寄席」(毎月7回) 落語と多彩な色物で寄席の芸と雰囲気を楽しめる公演。各種割引や子ども料金をPRし、新しい観客を招へい</p> <p>●企画公演(毎月7回程度) 落語・漫才・コントから音楽ショー、民謡等まで、幅広くバラエティに富んだ大衆芸能公演を日替わりで開催</p> <p><b>◇創造的で発信性のある取組みの実施</b></p> <p>①創造・挑戦的な取り組み</p> <p>●企画公演(毎月7回程度)再掲 ネタおろし、名作の継承や新作発表など演芸界を活性化させる公演の実施開催。関東で上方落語を定期的に楽しめる場として認知されている、にぎわい座ならではの上方落語の公演</p>	<p><b>経常公演</b> <input type="checkbox"/>年間170公演以上開催。</p> <p><input type="checkbox"/>合計入場者 月平均1,500人以上。</p> <p>■みなとみらい地区の企業など 団体誘致とファミリー層に向けてのPR活動の実施</p> <p><input type="checkbox"/>チケット販売数 平均40枚以上/1公演</p> <p><input type="checkbox"/>「こども寄席」 年間2公演開催</p> <p>■気軽にグループで来場できる 昼公演、じっくり堪能する夜公演の独演会など、「にぎわい座ならではの」「にぎわい座らしい」公演を連日開催</p> <p><input type="checkbox"/>実力ある若手を登用する公演 を年20回以上開催。</p> <p>■日本の伝統的な大衆芸能を紹介する企画公演を開催</p> <p>■将来性のある新真打の披露公演</p>	<p><input type="checkbox"/>年間186公演開催</p> <p><input type="checkbox"/>入場者平均1,801人/月</p> <p>■MM21 イベント連絡会参加</p> <p><input type="checkbox"/>1公演平均37枚</p> <p><input type="checkbox"/>2回開催</p> <p>■実施</p> <p><input type="checkbox"/>39回開催</p> <p>■1/15「新春特選 ニッポンの芸！」で和妻、水戸大神楽を紹介</p> <p>■2公演実施 (5/8「桂宮治真打昇進披露公演」、1/30「魅せる!はなし家</p>

<p>を積極的に行う。</p> <p>●のげシャレー公演 小ホールの小劇場的空間を活かした落語、漫才、コント、音楽ショーなどの公演や異色のコラボレーションなど</p> <p>◇若手実演家育成の仕組み作りと実践</p> <p>●「登竜門シリーズ in のげシャレー」 小ホールで開催する若手芸人が研鑽を積むシリーズ公演</p> <p>○登竜門シリーズ卒業生等の活動をサポートする「にぎわい座共催公演」を引き続き、実施</p> <p>◇鑑賞者の拡大を図る取組、事業を支える仕組みの構築</p> <p>●市民ニーズの把握と公演および施設運営への反映</p> <p>●観客創造事業「趣味をテーマの演芸会」 鉄道、野球といった趣味をテーマにした演芸会を行い、観客層を広げる。</p>	<p>□上方落語公演を年間 10 公演以上開催</p> <p>□年間 10 公演以上開催</p> <p>□年間 20 公演以上開催</p> <p>□入場者数平均 50 名以上</p> <p>■芸能ホール進出実現のためのサポートを行う。</p> <p>□年間 1 公演以上受け入れ。</p> <p>□全公演でのアンケートの実施</p> <p>□入場者数 60 名以上</p> <p>□貸切公演 2 回以上開催</p>	<p>三人衆～志ん吉改メ古今亭志ん雀真打昇進披露公演」)</p> <p>□年間 10 公演開催 (上方落語会 4 回、それ以外の上方落語家出演の公演 6 回)</p> <p>□年間 14 公演開催</p> <p>□年間 21 公演開催</p> <p>□1 公演平均 59 名</p> <p>■コロナ禍のため今年度は具体的な支援がほとんどできませんでしたが、次年度に向けて新たな支援策を検討しました。</p> <p>□1 回実施 (4/24 小ホール・立川こはる「こはるパラダイス」)</p> <p>□web アンケートを実施 事業満足度 4.23 (5 段階評価) / 回答数 621</p> <p>□1 公演平均 67 名 (9/23 野球、11/23 鉄道)</p> <p>□3 回実施 (5/26 岩崎中、2/24 富岡中、3/4 緑が丘中)</p>
--	---	--

<p>●貸切公演 団体からの要請により貸切公演を開催。主催公演の新規顧客の開拓し、リピート鑑賞につなげる</p> <p>●にぎわい会員 チケット購入用の会員制度</p> <p>◇市民の大衆芸能に関する学習活動や創作活動支援</p> <p>●寄席文化体験 寄席文字や大神楽曲芸など寄席に因んだワークショップ</p> <p>○「野毛まちなかキャンパス」野毛やその周辺の魅力を掘り起こす社会人向け大学講座に大衆芸能のコンテンツで参加。野毛地区街づくり会、横浜商科大学との共催事業</p> <p>●バックステージツアー 普段知る機会の少ない舞台裏を、寄席を楽しむミニレクチャーを交えて紹介</p> <p>●アウトリーチ 施設への来館が難しい方向けや個性的なロケーションでの実演で大衆芸能の楽しさを届ける館外活動。「笑いは健康の源」を重点テーマに、NPO等と協働で実施</p>	<p>□主催者の満足度 4 以上 (5 段階評価)</p> <p>□にぎわい会員登録数 22,000 人達成</p> <p>□「橘流寄席文字講座」「大神楽曲芸体験教室」などの開催。受講者計 70 名以上</p> <p>■要請に応じて企業や教育機関と連携した講座を実施</p> <p>□講座の共催開催 2 回以上</p> <p>□会場提供 3 回以上</p> <p>□職員の講師派遣 2 回以上</p> <p>□一般向け(子ども向け)2回以上</p> <p>□団体向けオンデマンド開催 2 回以上</p> <p>□若手芸人の起用 3 回以上</p> <p>■市民サポーター協働のモデル事業としての実施</p> <p>■個性的なロケーションでの演</p>	<p>□満足度 5</p> <p>□23,237 人 (令和 4 年 3 月末現在)</p> <p>□「橘流寄席文字講座」受講者数 32 人(コロナ禍により募集人員制限)</p> <p>■横浜市立戸部小学校 4 年 1 組の落語授業への協力実施。</p> <p>□1 回実施(12/6 横浜商科大学オンライン講座実施)</p> <p>□全てオンラインにて実施</p> <p>□1 回実施 (12/6)</p> <p>□にぎわい寄席終演後 3 回実施(4/4, 8/1 は子ども向け、12/5 一般向け)</p> <p>□実施なし(希望なし)</p> <p>□2 公演 4 名起用(別途、学校プログラムで 6 回 4 名起用)</p> <p>■1 回実施 (栄区の本郷ふじやま公園運営委員会との共催で 11/25 本郷ふじやま公園出前寄席実施)</p> <p>■1 回実施</p>
---	---	---

<p><b>◇子どもの創造性育成の取り組み</b></p> <p>○寄席体験プログラム（7回） 近隣の小学生が落語鑑賞と寄席独特の鳴り物などを体験する公演。公益社団法人落語芸術協会との共催事業</p> <p>○横浜市芸術文化教育プラットフォーム「学校プログラム」市立学校に出かけて行うアウトリーチ事業</p> <p>○教育委員会、教育機関との連携事業</p>	<p>芸会の実施</p> <p>□6月、10月の2期に分けて開催</p> <p>■本事業を通じた学校との情報交換、「こども寄席」などのPR活動など連携実施</p> <p>■要請に応じてコーディネート実施</p> <p>■要請に応じて実施。アウトリーチ、大衆芸能を主題にした研修会など。</p>	<p>（本郷ふじやま公園出前寄席※再掲）</p> <p>□4回実施（12/2, 3, 6, 7/全7回実施予定が、コロナの影響で6月→12月に延期、2月中止）</p> <p>■実施なし</p> <p>■4校実施 （11/5, 8, 16 舞岡小、11/19 南本宿小、12/9 鶴ヶ峯小、12/21 鉄小）</p> <p>■（再掲）横浜市立戸部小学校4年1組の落語授業への協力実施</p>
---	--	--

イ 大衆芸能に関する情報の収集及び提供

<p>[目指す成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大衆芸能に関する多様な情報を収集し、適切に提供することで大衆芸能の魅力を広く伝えます。この分野の専門施設として相談や各種照会に対応し、市民ニーズに応えます。</li> <li>・自主事業広報は、公演毎に訴求ターゲットを意識してデザインや使用ツールを改訂し、新たな鑑賞者やファンを獲得します。</li> <li>・展示事業は、大衆芸能を紹介するものに加え、施設との連携も交えて実施し、より多くの市民に足を運んでいただく機会とします。</li> </ul> <p>[成果の振り返り]</p> <p>ホームページを活用し、20周年プレ企画として館長、チーフ・プロデューサーである布目英一による「にぎわい座を支えた芸人列伝」の連載を始めるなど、大衆芸能の情報提供や広報を幅広く行いました。また展示事業では、引き続き感染対策のため密にならないよう内容を工夫しながら、新真打昇進記念品や新春ご挨拶手ぬぐいなどを展示しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><b>情報収集および提供</b></p> <p>●公演情報の収集 大衆芸能公演や市内の文化事業のチラシ、ポ</p>	<p>■常に新鮮な情報が得られる配架方法を進める。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■実施</p>

<p>スターを配架</p> <p>●公演情報の活用 企画公演等、過去の公演情報の活用</p> <p>●情報提供、相談対応 専門施設として外部からの相談に対応</p> <p><b>広報</b></p> <p>●広報、ホームページ、情報発信 チラシ、ポスター、ホームページ及び SNS 等により、公演情報を提供</p>	<p>■町内会、野毛ちかみち掲示板を活用し通行人に向けて、にぎわい座の楽しみ方を紹介。</p> <p>■電子根多帳にすべての公演情報を入力することを引き続き行う。</p> <p>■出演者経歴、演目解説など大衆芸能公演のアーカイブ化と継承を継続して行う。</p> <p>□催事開催に関する相談対応や出演者の紹介などのコーディネート 30 件以上</p> <p>□にぎわい会員を対象にメールマガジンを年間 24 回以上配信</p> <p>□Twitter を年間 400 回以上配信</p> <p>■Twitter は公演情報や業務案内だけでなく、近隣施設のイベント情報や大衆芸能に関するミニ知識、終演後に公演の様子を伝えるなど多彩な内容で配信</p> <p>■チラシは公演やシリーズごとに訴求対象を明確にし、それに合わせた仕様を採用。特に落語未経験者を意識した掲載内容を考慮する。</p> <p>■財団の広報・ACY グループと連携したプレスリリースの実施</p> <p>■新聞記者など識者に公演を見てもらい、その感想を広報に活用</p>	<p>■公演イメージで装飾したチラシや季節ごとの装飾を実施。</p> <p>■実施（221 公演）</p> <p>■実施</p> <p>□7 件</p> <p>□36 回配信</p> <p>□738 回発信</p> <p>■定例の公演情報のほか、季節の噺や落語に出てくる生き物などの大衆芸能のミニ知識や、出演者インタビューの動画などを配信</p> <p>■実施</p> <p>■PRTIMES 6 回配信</p> <p>■実施</p>
---	--	---



<p>●メディア懇談会 記者や編集者を対象にした懇談会を開催し、活動を紹介する</p> <p><b>展示事業・館内演出</b></p> <p>●展示事業 2階展示コーナーで常設展、企画展を開催 (感染症問題が収束し、ガイドラインをクリアできた場合に実施)</p> <p>●館内装飾 エントランス他に季節の装飾を行い、来館の楽しさを高め、ホスピタリティを向上</p>	<p>□メディア懇談会 1回以上開催。</p> <p>■感染症問題が収束し、ガイドラインをクリアできた場合に実施。</p> <p>□季節の館内装飾は年間10回以上展示替え。</p>	<p>□2回実施 (2/8, 14)</p> <p>■感染症予防のため実施中止。臨時で、新真打昇進三点セットや招木を展示。</p> <p>□展示替え12回実施</p>
--	--	---

ウ 街のにぎわいづくりへの寄与

<p>[目指す成果] 地域の活性化を目的に、「野毛地区街づくり会」ほか地域の団体の活動に協力し、街のにぎわい創りに貢献します。</p> <p>[成果の振り返り] 日本三大大道芸の一つとして数えられまちのシンボルでもある「野毛大道芸」を“いつもと違う野毛大道芸”をテーマとして、1月に続き、6月、9月に分けての分散開催することができました。また「にぎわい座利用促進委員会」(野毛地区街づくり会傘下)との定例共催事業である、敬老会、カラオケ大会は、街づくり会の判断で中止となりました。それぞれの取り組みにあたっては、関係者と丁寧な意見交換を行いました。なおコロナ禍により「のげ茶屋」の営業休止をはじめ、飲食関連の取り組みの殆どが見送りとなりました。</p>		
<p>[取組内容] ○公演鑑賞と飲食の楽しみで相乗効果を図る取組の実施(感染症問題が収束した場合) ○野毛地区主催のイベントへの協力</p>	<p>[達成指標] ■感染症の状況や関係ガイドラインの動向を注視しながら「のげ茶屋」営業再開の時期を協議検討 ■野毛地区街づくり会内設置の「にぎわい座利用促進委員会」との共催事業の実施</p>	<p>[実施内容と達成状況] ■関係ガイドラインにより再開のめど立たず営業の休止を継続 ■3事業実施(野毛大道芸2回、YOKOHAMA クラウンフェスティバル1回) ※7事業予定していたが、コロナ禍により4事業が中止</p>

<p>●MM21 地区からの誘客</p>	<p>■野毛大道芸など地域主体のイベントへの協力。</p> <p>□MM21 地区の就業者の交流団体向けにイベントを実施し、野毛への誘客を実現。イベント実施1回以上。</p>	<p>■6月・9月に野毛大道芸を当館で開催。また令和3年度野毛地区振興事業協同組合 福利厚生事業（のげチケット）に参加</p> <p>□コロナ禍により未実施</p>
----------------------	---	--

エ 市民と大衆芸能をつなぐ取組

<p>[目指す成果] 地域に根差した施設として、意欲ある市民の方に支えていただくとともに、多様な分野の市民団体やNPOとの協働により、魅力やホスピタリティにあふれ、また多方面からのアクセシビリティを実現する施設運営を行います。</p> <p>[成果の振り返り] 常に施設の顔として活動する「にぎわいスタッフ」の知見により、密にならない工夫や来場者導線など刻々と変更されるガイドラインに的確に対応することができました。またコロナ禍の困難な中でも市民団体等と協働してアウトリーチ活動を実施することができました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p>●にぎわいスタッフの力を活かした施設運営</p> <p>●市民サポーター、市民団体、NPOとの協働</p> <p>●職業体験、アートマネジメント実習</p>	<p>[達成指標]</p> <p>□にぎわいスタッフの声を活かすために、改善提案アンケートを年2回以上実施</p> <p>■チケット販売促進プロジェクトの推進</p> <p>■アウトリーチにおける市民団体等との協働</p> <p>■学校や学生からの要望により積極的に受け入れ。にぎわい座ならではの体験の場を提供。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>□2回実施</p> <p>■コロナ禍により未実施</p> <p>■栄区の本郷ふじやま公園運営委員会との共催で出前寄席を開催（※再掲）</p> <p>■要望なし</p>

オ 都市戦略および他施設との連携

<p>[目指す成果]</p> <p>市内で開催されるフェスティバル事業等に積極的に参画します。にぎわい座の舞台芸術分野におけるポテンシャルやユニークネスを十分に活用し、他の施設や組織と協働で事業を実施することで、横浜独自の魅力ある事業の国内外への発信に取り組みます。</p> <p>[成果の振り返り]</p> <p>「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021」と共催で、柳家花緑による「鶴の池（バレエ「白鳥の湖」を題材とした創作落語）」の口演のほか、その兄であり「Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2021」ディレクターである小林十市との兄弟トークを実施しました。また、ヨコハマダンスコレクション2021-DECとして新人振付家によるコンペティションや日米国際共同制作公演を共催しました。</p>		
<p>[取組内容]</p> <p><b>都市政策・施設連携事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●横浜芸術アクション事業「ダンスダンスダンス」への協力</li> <li>○「横濱ジャズプロムナード2021」運営協力</li> <li>○「横浜ダンスコレクション2022」のげシャレー公演共催</li> <li>●修学旅行や横浜遠足での鑑賞機会提供</li> </ul>	<p>[達成指標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実行委員会からの要請に合わせて、広報協力などを実施。</li> <li>■会場運営チーフに職員を派遣</li> <li>■会場提供、運営支援、広報協力を実施</li> <li>□修学旅行、横浜遠足等の鑑賞会2件以上。</li> </ul>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■実行委員会と共催で柳家花緑（小林十市ディレクター弟）独演会を9/12に開催</li> <li>■コロナ禍のため事業中止</li> <li>■3事業6公演実施（1事業2公演中止）</li> <li>□3件実施（※貸切公演再掲）</li> </ul>

(2) 施設運営について

ア 大衆芸能等の公演、練習、創作その他の活動のための施設の提供

<p>[取組内容]</p> <p>① 基本的な施設の提供</p>	<p>[達成指標] [実施内容と達成状況]</p> <p>■開館予定日数・時間</p> <table border="1" data-bbox="400 304 1323 412"> <tr> <td>開館日数</td> <td>341日 (月2回 施設点検で休館)</td> </tr> <tr> <td>開館時間</td> <td>10時～22時</td> </tr> </table> <p>■利用料金について (平日、入場料無料時)</p> <table border="1" data-bbox="400 461 1166 560"> <tr> <td></td> <td>10:00～12:00</td> <td>13:00～16:30</td> <td>17:30～22:00</td> </tr> <tr> <td>芸能ホール</td> <td>25,600</td> <td>44,800</td> <td>70,400</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="400 586 1425 844"> <tr> <td></td> <td>10:00 ～12:00</td> <td>12:30 ～14:30</td> <td>15:00 ～17:00</td> <td>17:30 ～19:30</td> <td>20:00 ～22:00</td> </tr> <tr> <td>小ホール</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>7,700</td> <td>9,600</td> <td>9,600</td> </tr> <tr> <td>練習室</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,300</td> <td>1,600</td> <td>1,600</td> </tr> <tr> <td>制作室</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>900</td> <td>1,100</td> <td>1,100</td> </tr> </table>		開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)	開館時間	10時～22時		10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00	芸能ホール	25,600	44,800	70,400		10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00	小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600	練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600	制作室	900	900	900	1,100	1,100
開館日数	341日 (月2回 施設点検で休館)																																					
開館時間	10時～22時																																					
	10:00～12:00	13:00～16:30	17:30～22:00																																			
芸能ホール	25,600	44,800	70,400																																			
	10:00 ～12:00	12:30 ～14:30	15:00 ～17:00	17:30 ～19:30	20:00 ～22:00																																	
小ホール	7,700	7,700	7,700	9,600	9,600																																	
練習室	1,300	1,300	1,300	1,600	1,600																																	
制作室	900	900	900	1,100	1,100																																	
<p>[取組内容]</p> <p>② 利用料金の改訂</p> <p>③ 貸館の運営体制</p> <p>④ 要望・苦情への対応</p>	<p>[達成指標]</p> <p>■芸能ホール・小ホール リハーサル利用時 50%割引 (継続)</p> <p>■芸能ホールの寄席囲いを活用した共催利用の推進</p> <p>■職員1人を貸館メイン担当とし、舞台技術スタッフとともに公演打合せや利用相談をきめ細やかに対応する。</p> <p>■利用者が安全でスムーズに催物を実施できるように舞台技術スタッフを配置する。</p> <p>■舞台技術スタッフの統括責任者は経験10年以上、他のスタッフについても経験5年以上の者とする。</p> <p>■貸館に関する要望、苦情は、すべて支配人・館長まで報告する。</p> <p>■内容によって財団事務局や文化観光局に即時に報告。</p>	<p>[実施内容と達成状況]</p> <p>■実施</p> <p>■実施 (2/12)</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■随時実施</p> <p>■随時実施</p>																																				

イ 利用促進及びサービスの向上、アイデア・ノウハウの一層の活用

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 利用率の向上	<input type="checkbox"/> 目標利用率 芸能ホール：70% 小ホール：30% ＊利用可能日に対する稼働率 練習室：40% 制作室：30% ＊利用可能時間帯に対する稼働率	<input type="checkbox"/> 利用率 芸能ホール 68%、小ホール 49%  練習室 48% 制作室 26%
② 利用の促進	<input type="checkbox"/> 大衆芸能普及と振興のため、主催興行期間中に芸能ホールの寄席囲いを活用した公演や小ホールでの若手演芸家の公演を誘致 年間2公演  <input type="checkbox"/> 土日祝日の施設空き情報をホームページ、SNSで案内 1回/月  <input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者の施設見学、随時受け入れ  <input checked="" type="checkbox"/> ダンスや演劇による小ホール利用希望者をサポートし実際の利用へと繋げる	<input type="checkbox"/> 2公演実施（4/24、2/12）  <input type="checkbox"/> 1回以上/月実施  <input checked="" type="checkbox"/> 実施（受け入れ32件）  <input checked="" type="checkbox"/> 実施
③ 1階エントランスの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 地域のインフォメーションに活用 野毛大道芸、のげやまくん 通年実施  <input checked="" type="checkbox"/> 団体のお客様のチケット受渡し所等、要望に応じて第2の受付に活用  <input checked="" type="checkbox"/> 主催公演の看板やチラシを多数配置して賑やかな雰囲気演出する。	<input checked="" type="checkbox"/> 実施  <input checked="" type="checkbox"/> 11/5 団体受付として実施  <input checked="" type="checkbox"/> 通年実施
④ 3階売店との連携	<input checked="" type="checkbox"/> 売店と連携し、利用者の要望に応じた公演時の売店営業や弁当等の手配を仲介。通年実施  <input checked="" type="checkbox"/> 地元飲食店組合協力による特製弁当の提供	<input checked="" type="checkbox"/> コロナ禍により営業休止  <input checked="" type="checkbox"/> 要望なし
⑤ 第三期の、新たな貸出プラン	<input type="checkbox"/> 撮影での貸出 年2回以上	<input type="checkbox"/> 8回/年

⑥ 第三期の新たな利用者サービス	<p>■貸出施設以外についても料金を設定し、対応（継続）50,000 円/3 時間延長 20,000 円/時間</p> <p>■貸館公演サポート業務を充実させ、広報する。</p>	<p>■要望なし</p> <p>■印刷 3 件、表方スタッフ配置 2 件を実施</p>
------------------	---	---

ウ 組織的な施設運営

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]																											
<p>① 第三期提案の実行と課題解決を実現する適材適所の配置</p> <p>② 施設の安全管理を実現するシフト配置</p> <p>③ 大衆芸能分野の専門的人材の配置及び育成</p> <p>④ その他の人材育成、チームワー</p>	<p>■人材の配置</p> <table border="1" data-bbox="491 593 949 1131"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>館長・チーフプロデューサー</td> <td>1 人</td> <td>グループ長</td> </tr> <tr> <td>支配人</td> <td>1 人</td> <td>グループ長</td> </tr> <tr> <td>チームリーダー</td> <td>1 人</td> <td>管理 1</td> </tr> <tr> <td>担当リーダー</td> <td>1 人</td> <td>事業 1</td> </tr> <tr> <td>職員</td> <td>5 人</td> <td>管理 3、事業 2</td> </tr> <tr> <td>アルバイト</td> <td>2 人</td> <td>2 人 2 ポスト</td> </tr> <tr> <td>公演表方チーフ</td> <td>1 人</td> <td>1 人 1 ポスト</td> </tr> <tr> <td>にぎわいスタッフ</td> <td>30 人</td> <td>最大予定人数</td> </tr> </tbody> </table> <p>■勤務体制は各 2 人以上のシフト制とし、主催事業や貸館状況等に応じて職員・スタッフの人数を配置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務室 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:30～18:15）</li> <li>B 勤務（13:15～22:00）</li> </ul> </li> <li>・受付窓口 <ul style="list-style-type: none"> <li>A 勤務（9:45～13:55）</li> <li>B 勤務（13:45～17:55）</li> <li>C 勤務（17:45～22:00）</li> </ul> </li> </ul> <p>■大衆芸能分野のプロデューサーを館長とし、引き続き事業担当職員を専門職員候補として中期的に育成する。</p> <p>■社内外の研修参加や資格取得を奨励</p>	項目	人数	備考	館長・チーフプロデューサー	1 人	グループ長	支配人	1 人	グループ長	チームリーダー	1 人	管理 1	担当リーダー	1 人	事業 1	職員	5 人	管理 3、事業 2	アルバイト	2 人	2 人 2 ポスト	公演表方チーフ	1 人	1 人 1 ポスト	にぎわいスタッフ	30 人	最大予定人数	<p>■大衆芸能に造詣の深い館長・チーフプロデューサーの指導の下、登用した専門人材を含む事業制作担当職員 4 名の専門性向上に努めた。</p> <p>■市や財団主催の研修参加を奨励。バリアフリー研修などに参加</p>
項目	人数	備考																											
館長・チーフプロデューサー	1 人	グループ長																											
支配人	1 人	グループ長																											
チームリーダー	1 人	管理 1																											
担当リーダー	1 人	事業 1																											
職員	5 人	管理 3、事業 2																											
アルバイト	2 人	2 人 2 ポスト																											
公演表方チーフ	1 人	1 人 1 ポスト																											
にぎわいスタッフ	30 人	最大予定人数																											

<p>ク醸成</p>	<p>■課題を共有し、全スタッフが意見を言える環境づくり。</p> <p>■研修やOJTで、窓口スタッフの接客スキル向上を図る。</p>	<p>■ガイドライン変更時、導線、公演運営、施設貸出、消毒方法等を検討し、最新情勢にあわせて改善</p> <p>□OJTや年次や業務別の研修のほか、全スタッフによる「全体研修会」を2回実施</p>
------------	--	--

エ 個人情報保護・情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業優先発注など市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 個人情報保護・情報公開	<p>■「財団の個人情報保護に関する規程」「にぎわい座個人情報取扱マニュアル」を遵守</p> <p>■ファックス送信や郵送の際の、ダブルチェックを徹底</p> <p>■入場券販売やメールマガジン配信に票券管理システムを使用し、紙ベースでの顧客情報保管を廃止</p>	<p>■新規採用研修、全体研修会で全スタッフ対象に研修を実施</p> <p>■実施</p> <p>■票券管理システムを継続して運用</p>
② 人権尊重	<p>■人権研修への参加、職場内での研修実施</p> <p>□にぎわいスタッフ向け接客研修実施（年2回以上）</p>	<p>□実施（2/16）</p> <p>□2回実施（5/17、2/16）</p>
③ 環境への配慮	<p>■施設の利用状況を細目に確認しながらの空調・照明のオンオフ操作による光熱水費の削減。</p> <p>■ゴミ処理有料化等の新規取組により、ゴミの軽減と持ち帰りを促進。</p>	<p>■利用状況に応じた設備稼働を実施</p> <p>□光熱水費 16,448 千円 前年度比 115%</p> <p>■コロナ禍によりゴミ処理有料化を見送り。</p>
④ 市内中小企業優先発注	<p>市内中小業者への発注率</p> <p>□備品・消耗品購入 90%以上</p> <p>□修繕・備品の買い替え 90%以上</p> <p>□印刷物 80%以上</p>	<p>□備品・消耗品購入 75.7%</p> <p>□修繕・備品の買い替え 38.3%</p> <p>□印刷物 99.4%</p>

(3) 施設管理について

ア 施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 施設及び設備の維持保全及び管理	<p>■建築設備、舞台設備の施設保守管理業務項目一覧に明記した保全管理及び点検の遺漏ない実施。</p> <p>■委託業者により設備系及び消防系の目視点検を毎日実施。</p> <p>□設備の不具合による施設貸出停止ゼロ。</p>	<p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>□0件</p>
② 小破修繕の着実な実行	<p>□来館者アンケートの施設快適性評価 4以上(5点満点)。</p> <p>■優先順位を的確に判断しての修繕、更新の実施。</p>	<p>□施設快適性評価 4.17(5点満点)</p> <p>□7件780千円の修繕、更新を実施。</p>

イ 事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 事故防止対策、緊急時（防犯）対応	<p>□施設管理者有責による人身事故ゼロ</p> <p>■スタッフ及び委託業者による巡回を実施し、建物や設備の不具合、危険を早期に発見し、適切に対応</p> <p>■主催事業や施設の利用状況に合わせて、楽屋管理口のにぎわいスタッフが常駐し、開錠及び管理を実施</p> <p>■ケアの必要なお客様来場時には、スタッフが連携をとって見守り、適切な距離感で補助を行う。</p> <p>■スタッフ及び委託業者による巡回で、異常を早期に発見</p>	<p>□0件</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p>
② 感染症対策等	<p>■汚物処理は感染症を念頭におき、消毒液を常備して効果的に実施</p>	<p>■実施</p>



	<p>■シフト勤務の中、予め当日の責任者を明確にして対応</p> <p>■主催事業や観客の多い貸館公演の日は、スタッフを増やして対応。原則としてリーダー以上が出勤</p>	<p>■実施</p> <p>■実施</p>
③ 緊急時の体制、連絡体制		

ウ 防災に関する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 危機管理マニュアルの整備	<p>■ 現行マニュアルの検証と法令等に合わせた必要な改訂</p> <p>■ 天候異常や交通機関の停止にあたっては、休館や開館時間の変更など、施設と利用者、スタッフの安全を確保する対策をとる。</p>	<p>■ 実施</p> <p>■ 実施</p>
② 避難訓練	□ 全スタッフ参加の避難訓練実施 年 2 回以上	□ 2 回実施 (5/21、2/16)
③ 帰宅困難者及び避難者の受け入れ	■ 災害時等には横浜市の要請に応じ、帰宅困難者一時滞在施設・避難受入施設と同様、避難者の受け入れを行う。	■ 要請なし

(4) 収支について

ア 指定管理料のみに依存しない収入構造、経費削減等効率的運営の努力

取組内容]	[達成指標]	[実施内容と達成状況]
① 利用料金収入の確保	□ 利用料金収入 10,000 千円	□ 12,218 千円
② チケット受託販売	<p>□ 受託実績 10 公演以上</p> <p>■ 催し物案内やHP 公演情報の記載やチラシ配架、ポスター掲出で、チケット取扱い公演を PR する。</p>	<p>□ 受託 14 公演</p> <p>■ 実施</p>
③ 自主事業収入の増収	□ 入場料収入 106,000 千円達成	□ 70,715 千円
④ 協賛金の獲得	□ 団体販売実績 年間 10 団体以上。	□ 10 団体/年 (公演中止により 3

<p>⑤ オリジナル商品 開発および販売</p>	<p><input type="checkbox"/>協賛（現物協賛を含む）1件以上。</p> <p><input type="checkbox"/>来場記念になるグッズ、オリジナル商品販売 60,000円</p>	<p>団体がキャンセルに)</p> <p><input type="checkbox"/>1件</p> <p><input type="checkbox"/>80千円</p>
<p>⑥ 経費削減</p>	<p>■画家とのコラボ商品；落語家てぬぐい</p> <p>■入札、見積もり合わせの徹底</p>	<p>■落語家てぬぐい、大入チケットホルダーを販売</p> <p>■実施</p>
<p>⑦ コスト意識</p>	<p>■計画的なチラシ発送による郵送料の削減</p> <p>■シフト調整、公演表方チーフ制による業務分担の見直し等による超過勤務削減</p> <p>■超過勤務の事前申請の徹底</p>	<p>■実施</p> <p>■実施</p> <p>■実施</p>

イ 適切な収支構造および収支バランス（別紙のとおり）

## 令和3年度 「横浜にぎわい座」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	213,940,000		213,940,000	213,940,000	0	横浜市より
利用料金収入	10,000,000		10,000,000	12,219,100	2,219,100	施設利用料、附帯設備利用料
自主事業収入	107,776,000		107,776,000	72,616,136	35,159,864	公演チケット収入、講座料収入、貸切公演等の受託料収入ほか
横浜市補助金・負担金	0		0	10,280,000	10,280,000	新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応に伴う費用負担金
雑入	6,055,000	0	6,055,000	8,130,464	2,075,464	
印刷代	5,000		5,000	31,838	26,838	チケット印刷代行、コピー代
自動販売機手数料	150,000		150,000	46,738	103,262	自動販売機売上手数料
その他(協賛金、事業負担金等)	5,900,000		5,900,000	8,051,888	2,151,888	文化庁補助金、「教育プラットフォーム」負担金、事業協賛金、広告料ほか
収入合計	337,771,000	0	337,771,000	317,185,700	20,585,300	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	86,796,000	0	86,796,000	90,147,070	3,351,070	
給与・賃金	69,636,000		69,636,000	74,722,837	5,086,837	館長を含む。事業スタッフ、運営スタッフ、にぎスタ給与
社会保険料	10,262,000		10,262,000	9,071,020	1,190,980	健康保険料、厚生年金保険料、介護保険料、雇用保険料、労災保険料
通勤手当	3,695,000		3,695,000	3,735,113	40,113	
健康診断費	66,000		66,000	94,019	28,019	健康診断、福利厚生費
勤労者福祉共済掛金	54,000		54,000	16,000	38,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	3,083,000		3,083,000	2,508,081	574,919	
事務費	7,034,000	0	7,034,000	5,205,666	1,828,334	
旅費	90,000		90,000	32,218	57,782	出張費
消耗品費	1,132,000		1,132,000	847,466	284,534	施設運営に係る文具、用紙、消耗品購入
印刷製本費	200,000		200,000	94,050	105,950	封筒等の増刷
通信費	950,000		950,000	823,986	126,014	郵送料、通話料、通信費
使用料及び賃借料	219,000	0	219,000	165,476	53,524	
横浜市への支払分	114,000		114,000	4,818	109,182	目的外使用料(3階売店、2階グッズ販売、自動販売機)
その他	105,000		105,000	160,658	55,658	NHK受信料、PCソフトライセンス料
備品購入費	200,000		200,000	306,669	106,669	設備・備品更新
図書購入費	45,000		45,000	38,268	6,732	参考図書、新聞購入
施設賠償責任保険	54,000		54,000	40,940	13,060	
職員等研修費	50,000		50,000	3,500	46,500	資格取得・維持
振込手数料	90,000		90,000	64,295	25,705	信金振込手数料
リース料	3,126,000		3,126,000	2,525,372	600,628	PC、複合機、印刷機、AED、玄関マットレンタル、携帯電話抑止装置
委託費	63,000		63,000	38,500	24,500	
手数料	300,000		300,000	122,490	177,510	支払手数料、産廃処理料
施設広報費	300,000		300,000	42,900	257,100	施設広告掲載、施設販促物作成
雑支出(渉外費)	165,000		165,000	31,936	133,064	祝儀、供花等
地域協力費	50,000		50,000	27,600	22,400	町内会費等
事業費	102,413,000	0	102,413,000	91,032,418	11,380,582	
自主事業費	102,413,000		102,413,000	91,032,418	11,380,582	出演料、広報物制作費、票券システム管理料、販売手数料ほか
管理費	104,645,000	0	104,645,000	96,758,792	7,886,208	
光熱水費	17,000,000	0	17,000,000	16,448,034	551,966	
電気料金	11,980,000		11,980,000	12,061,044	81,044	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
ガス料金	3,140,000		3,140,000	3,144,308	4,308	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
水道料金	1,880,000		1,880,000	1,242,682	637,318	ビル管理組合が契約し、使用量に応じて経費分担
清掃費	9,864,000		9,864,000	9,060,000	804,000	専有部清掃費
修繕費	1,845,000		1,845,000	779,988	1,065,012	設備、機器修繕等
舞台技術費	16,344,000		16,344,000	11,124,100	5,219,900	舞台技術業務のうち、日常業務、施設維持管理に係る経費
設備保全費	41,542,000	0	41,542,000	41,352,120	189,880	
専有部管理費	41,542,000		41,542,000	41,352,120	189,880	専有部の設備管理費、警備費、機械警備費等
共益費	18,050,000		18,050,000	17,994,550	55,450	ビル共用部管理費
公租公課	11,793,000	0	11,793,000	10,588,189	1,204,811	
消費税	11,729,000		11,729,000	10,522,400	1,206,600	
印紙税	49,000		49,000	45,100	3,900	契約書用
その他(法人税、電波利用料)	15,000		15,000	20,689	5,689	業務用トランシーバー、携帯電話抑止装置電波利用料
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	25,090,000	0	25,090,000	25,090,000	0	
本部分	25,090,000		25,090,000	25,090,000	0	
支出合計	337,771,000	0	337,771,000	318,822,135	18,948,865	
差引	0	0	0	1,636,435	1,636,435	